

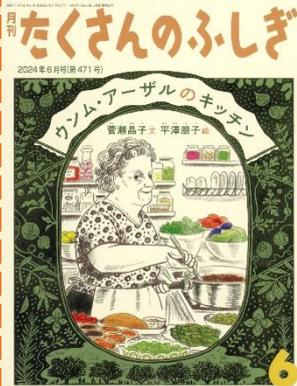
【緑地を楽しむ本】

『ウンム・アーザルのキッチン』

月刊たくさんのふしぎ 2024年6月号

菅瀬晶子 文 平澤朋子 絵

福音館書店



イスラエルとハマスの戦
闘はまだ終わりが見えませ
ん。日々、死亡者の数の報
告に胸を痛めている人は沢
山いるでしょう。

ウンム・アーザルとは
アーザルのお母さんという
意味で、イスラエルに住むアラブ人の女性。
そしてキリスト教徒です。このような人はイ
スラエルに 1.4%しかいません。彼女はハイ
ファという街に住み、70 歳以上ですが週に 1
回修道院のキッチンで昼食を作っています。

アラブ人はユダヤ人に比べると給料は低く、
差別を受けています。

ウンム・アーザルは働かなくなった夫に代わ
り、修道院の厨房で働いて 4 人の子どもを育て
ました。

この本を読むと色々なアラブ料理が出てきて
興味深いです。そして、イスラエルで生きてい
るアラブ人に思いをはせることができます。

(齋藤好子)